

入間川地区中学校統廃合検討協議会第12回会議録

- ・開催日時 平成26年2月24日(月) 午後7時～午後8時20分
- ・開催場所 市民交流センター3階 中央公民館第1ホール
- ・出席者 23名 ※欠席者7名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主査
学校教育部参事兼教育指導課長 学務課長
- ・傍聴者 4名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 学校名について

(委員) 狭山台中のPTAとしては、学校名は狭山台中学校のままでお願いしたいと考えています。狭山台地区にある学校ですし、隣の小学校も狭山台小学校ですから、わざわざ変える必要はないと思いますし、狭山台北小と狭山台南小が廃校となり、ここで狭山台中もなくなることになれば、小学校だけでなく中学の母校も失ってしまうこととなります。また、学校名を変えると、校旗や校章、校歌を新しく作り直したり、プレートを取り換えたりで相当の経費がかかりますし、そのような部分にお金をかけるのであれば、部活動など子ども達に直接関わることに使っていただきたいと思っています。

(委員) 学校名を一般公募する考えはありますか。

(事務局) 既存の学校名を基本に考えていますので、公募をする考えはありません。

- (委員) 地元の子供会の意向としては、狭山台中に統合される形ではなく、新しい学校を創るという発想で学校名を含めて検討してほしいというのがあります。この学校統合の問題については、学校名のことも含め、20年、30年先のスパンで検討していただければと思っています。
- (委員) 両校ともに歴史がありますし、立場ごとにいろいろと意見はあろうかと思いますが、狭山台の自治会としては、狭山台地区にあるということもありますし、子ども達は、大人に比べれば、それほど学校名にこだわるということはないと思っていますので、現存の狭山台中学校のままで名称はお願いしたいと考えています。
- (委員) 学校の歴史という観点では、前身の入間川中学校の頃から続いている事を考えれば、東中は100年の歴史があります。それにこだわるつもりはありませんが、東中には長い歴史があります。
今回は富士見小から行く子どもが多いですし、もともと狭山台自体は入間川地区の山だったわけですから、「入間川東中学校」という名前にするなど、いろいろ考え方はあろうかと思いますが、私は狭山台という名前にこだわる必要はないと思っています。
- (委員) ただ、現在の住所としては埼玉県狭山市狭山台ですし、東中に比べれば歴史は短いかもしれませんが、狭山台中も40年の歴史があります。決して東中の歴史を軽視しているつもりはありませんので、その点をご理解いただければと思います。
- (委員) このままでは両方の立場で平行線を辿るだけだと思うのですが、今回の統廃合については、20年、30年先を見据えて、どのように新しい学校を創っていくかという視点が大事かと思っています。
- (委員) 最終的には学校名は決めなければいけないと思いますが、両方が一緒になった時に、新しい学校としてスタートできるという視点で考えていく必要があると思います。
- (委員) 東中のPTAの保護者に意見を聴いたところでは、狭山台中のままでいいという方もいれば、名前を変えた方がいいという方もいまして、東中のPTAとして意見を一つにまとめるのは厳しい状況です。

(委員) 在校生や卒業生にとっては寂しいことなのかもしれませんが、これから中学校に入学する子ども達にとっては、学校の名前は、そんなに気にすることはないのかなと思っています。学校名のことよりも、如何に子ども達の学ぶ環境を充実させられるかということに重きを置いて考えていった方がいいと思います。

(委員) 狭山台中の保護者全体にアンケートを取りましたところ、100人くらいの方から回答があったのですが、ほぼ全ての方が、校名は狭山台中のままでいいとの答えでした。主な理由としては、入間川地区の統廃合の会議で狭山台中の名前が変えられてしまうのは納得できないし、そのような状況になるのであれば、なぜ最初から会議に参加できなかったのかといったものです。

私たち狭山台中のPTAとしては、受け入れに向けて精一杯動きたい気持ちはありますが、狭山台中の名前を変えてしまうと、保護者の反発を招くことになりかねません。私としては、何年もかけて積み重ねてきた入間川地区中学校統廃合検討協議会での議論を踏みにじるようなことはしたくありませんので、できれば、狭山台中側が受け入れやすい環境につながるような結論を出していただければと思っています。

(委員) 富士見小の保護者の間では、学校名にはこだわっていない方もいれば、名前を検討するところから始めてほしいという方もいます。私としては、学校名に固執してしまうのは良くないのかなと感じていて、学校名のことが独り歩きしてしまうと、敵対感情というか、マイナスな部分が大きいのかなと思っています。狭山台中のPTA会長さんとは、機会があるたびに、良い統合になるように話はさせてもらっているのですが、今後は、富士見小の保護者を対象に、狭山台中学校を見学する機会を設けてもらうとか、PTAの役員同士の交流の場を設けるとか、人と人との交流によってお互いが理解し合っていくことが大事なのかなと思っています。ですから、この学校名のこと、お互いギスギスした感じになってほしくないというのが私の考えです。

(委員) 私はずっと狭山台に住んでいて、狭山台という響きに馴染んでいますので、このまま狭山台中学校でお願いしたいと思っています。

(委員) 狭山市の場合、学校の名前は地名ばかりですので、せっかくですから良い名前を新しく付けてもらいたいというのはありますが、私も名

前には特にこだわりは持っていません。この会議では、和やかな形で最終的に意見の集約ができればいいと思っています。

(委員) 皆さんの話を聞いて、いろいろな考えがあるなと思ったのですが、学校名というものについて、自分としての考えは今のところまとまっておられません。

(委員) 私は、将来を見据えて新しい名前を付けてもらいたいと思っています。

(委員) 富士見一丁目自治会には学校を選べる地域がありますが、狭山台中にしようか中央中にしようかということで、もうそれぞれの学校名ありきで保護者は話をしています。ですから、狭山台中の名前を変えるとか、中央中の名前も変えるのかといった話題は出ていません。

はっきり言いまして、東中と狭山台中の両方の名前を取り入れた良いネーミングは思い浮かびません。東という言葉を使うのもありえないと思いますし、かといって、例えば「みらい中学校」とか、平仮名の綺麗な名前を付けて合意が得られるとも思いません。ですから、個人的には狭山台中しかないのかなと、そう感じております。

(委員) 私も、この学校名の件で議論するつもりは更々ございません。子ども達が如何に学校生活を送れるかが第一義だと思いますし、学校名については、お互いが対立することのないように、相対的な意見で決めるのがよろしいかと思えます。

(委員) 学校名を変えた場合、諸々の経費がかかることになりますが、今の財政状況を踏まえると、いくらでもお金をかけていいということはありません。さらに、狭山市の場合、学校名に各地区の名称を使うのが一般的ですので、狭山台中の名前は継続していいのではないかと思います。

事務局にお伺いしたいのですが、学校名は委員の意見をもって決めるのでしょうか。学校の名前をどうするかについては、教育委員会としての考えも持っていた方がいいのではないのでしょうか。

(事務局) 基本方針に基づいて、統廃合に伴う学校の名称の取扱いということで、このたび議題として挙げさせていただきました。学校名に関して

は、委員の皆さんのご意見をベースに、事務局としての考えも示したうえで決めたいと考えています。

(委員) 基本的には、われわれ委員の意見を聞いて決めるということですね。

(事務局) 学校名は、統廃合計画に盛り込む項目の一つになっていますので、この場で協議をしていただければと思っています。

(委員) 学校名を議論する前に、まずは統廃合計画の中身をしっかり議論していった方がいいのではないのでしょうか。まだ時間はあるわけですし、今日ここで学校名について結論を出す必要はないと思います。

(委員) 学校名を変えると経費がかかりますが、財政状況に余裕はないと思いますので、生徒が過ごしやすい環境になるように予算は使っていたきたいと思っています。

(委員) 学校名に関しては、条例に基づくもので、最終的には議会で決める事ですから、われわれの意見はあくまで参考意見ということになるかと思います。学校名よりも、教育の中身を最優先に考えていった方がいいと思います。

(委員) 狭山台中学校のままでいいかとは思いますが、関係する生徒や保護者の方の気持ちを思うと、大変難しい問題だとは思いますが。やはり、名称というよりも、お互いが協力し合いながら、如何に内容を充実させていけるかが大事かと思っています。

私は狭山台北小学校に12年間お世話になり、多くの卒業生と関わってまいりましたが、先日、35年ぶりにタイムカプセルを掘り起こし、卒業生の同窓会に招かれる機会がありました。卒業生たちは皆、北小が廃校になって寂しい思いをしているだろうなと思っていましたが、全くそういう感じはなかったですね…。皆の心に残っているのは、その時に過ごした事とか仲間の事とかであって、やはり教育は人づくりですから、統合に向けて不安を感じさせないような準備をお願いしたいと思っています。

(委員) 東中学校の校長の立場としては、統廃合の対象校でありますので、名称についてのコメントは控えさせていただければと思っております。

(委員) 入間川中学校の校長の立場としては、学校名については皆さんの総意で、としか言いようがないと思っております。

(委員) 狭山台中学校の校長です。

実は、地域住民の方々や卒業生の思いを耳にしておりますので、ここで申し述べさせていただきたいと思っております。それは、地域住民の方々及び卒業生の皆様方は、狭山台中学校の校名を存続してもらいたいという思いが強いということです。

第一に、教育とは引き継ぐことと受け止めさせていただいております。例えば、名工職人の腕を見習い、工員がその技を学びながら伝統を引き継いでいるという点です。なお、学ぶとは、真似るとい言葉の由来からきているそうです。

第二に、昭和 50 年に狭山台中学校が開校し、次年度は 40 周年を迎えようとしております。この間、8,303 名の卒業生を輩出し、皆、巣立っていきました。地域の方々には卒業生に対し、いつの日か、この狭山台の地に戻り、地域を支え活躍する人になってほしいと期待しておられるのではないのでしょうか。故郷に戻った時に、心の拠り所としての狭山台中学校が存続しているということ、すなわち地域の財産として残っていることが重要なことと考えています。狭山台中の校歌についても、生徒はいつまでも心の拠り所とするのではないのでしょうか。確かに、統廃合に向けて心機一転と受け止められることと思われませんが、校名変更は、大変な決断が必要と考えます。校名変更の理由を調べてみますと、歴史的な風土の変更、校風の変更、教育制度の変更が挙げられますが、どれも狭山台中学校の校名変更の理由には当てはまらないと思われま。さらに、不易流行の視点から申しますと、校名とは全ての教育活動の根本すなわち不変な事、人の名前と同じであると、そのように考えております。

(委員) 富士見小学校の校長です。私たちは県の教育委員会の人事によって学校を決められておりますので、地域の皆様のご意見に従いたいと思っております。

(委員) 新狭山小学校の校長です。新狭山小の場合、9 割以上堀兼中学校への進学なのですが、この学校名に関しては、コメントは控えさせていただきます。

(委員) 狭山台小学校の校長です。狭山台小も北小と南小が統合して4年目になりますが、そういった歴史的な変遷があるなかで、この会議の在り方を考えていければいいのかなと思っております。今回の学校名に関して具体的な意見はありません。

(議長) 皆さんからのご意見をまとめるのは難しいですが、どちらかというところ、名前は狭山台中のままがいいという意見の方が多かったような感じがします。中身が大事だという意見も多くありましたが、方向的には、今ある狭山台中学校の名称を使うことでよろしいかと思うのですが、如何でしょうか。

(委員) それに対して反対するつもりはないのですが、先ほど狭山台中学校の校長先生がおっしゃられたことを富士見にお住まいの方々にお話しできるかという点では、なかなか難しいのかなと率直に感じました。不易流行という話もありましたが、その逆も当てはまるわけですし、狭山台中学校のままになるにしても、今の部分を理由として全面に出していくのでは厳しいと思います。感情論というか、変に逆撫でしてしまう面があるかなと思います。

(委員) 学校名は今日決めなければいけないのですか。

(事務局) 今日決めていただきたいと思いますと思いますが、難しいようであれば、次回でも結構です。

(委員) 学校名が決まらなくても、統廃合計画の構成に関する中身についての議論は進められると思いますし、会長は、学校名は狭山台中学校のままでいいという意見が多かったと言われましたが、私としては半々くらいじゃなかったかなと思うのですが…。学校名については継続審議でいいのではないのでしょうか。

(議長) 中身の議論を先行して進めるやり方もあるとは思いますが、今日の議題として学校名が挙げられていますし、全員の方からご意見をお伺いしましたので、前に進むという意味でも、今日決めてもいいのではないかと私として考えています。

(委員) 納得のいく理由があればいいのではないのでしょうか。狭山台地区にある学校だからとか、学校の名前を変えると経費がかかるとか、そういった理由であればいいのではないのでしょうか。

(委員) 統廃合を迎えるにあたっての不安を払拭することが大事だと思うのですが、統廃合計画の中身に関わる部分を詰めていくなかで、名称にこだわる必要はないという結論が出れば、それでいいと思いますし、もし皆が納得するような新しい名前が見つければ、それでもいいと思っています。校名は最後まで大丈夫なんじゃないのでしょうか。

(議長) 事務局としてはどうですか。

(事務局) 継続審議として、中身の議論を先行して進めていく形でも結構です。

(委員) 事前に配られた会議開催の案内文のなかには、学校名を決めることは議題に入ってなかったですね。

(委員) だから、今日決めることに無理はありますよね。

(議長) それでは、次の議題の統廃合計画の中身についての協議に入りたいと思いますので、よろしくお願いします。

(2) 入間川地区の中学校の統廃合計画の構成について

(委員) 学校名が狭山台中学校のままとなれば、統廃合の方法は吸収統合のような表現になるのでしょうか。統廃合の方法というのは、どういうイメージなのでしょうか。

(事務局) 狭山台中学校に学校名が決まれば、統廃合の方法は編入統合という形になります。

(委員) 編入イコール呑み込まれるというイメージがありますが、あえて寝た子を起すような表現は必要なのでしょうか。統廃合の方法という項目は入れなければならないのでしょうか。

(事務局) 基本方針にあるとおり、学校名に関する記載は必要ですが、統廃合

の方法についての記載は特になくても問題はないと思います。

(委員) 自転車通学は、どの程度まで認められますか。沢から堀兼中への自転車通学は可能ですか。

(事務局) 堀兼中については、2 km くらいを目安に自転車通学が現在認められています。

狭山台中では、基本的に自転車通学は現在認められていませんが、統合を機に通学区域が広がりますので、改めて検討されることになると思います。

(委員) 狭山台中では、現状は原則全員徒歩通学となっています。ただし、学校の正門から半径2 km を超える所に住む生徒さんについては、保護者の責任のもと、特例として自転車通学を認めています。保険の加入はもちろんです。この4月からはヘルメットを着用してもらう方針です。

(委員) 東中では、安全の観点から一切自転車通学は認めていません。特別支援学級の生徒についても、東中学校区以外から通われている生徒さんもいますが、自転車通学は一人も認めていません。

(委員) 学校を統廃合するにあたり、予算化はどの程度されるのですか。

(事務局) 入曽の中学校の統廃合の例で言いますと、統合先の中学校である入間野中学校と山王中学校におけるトイレ改修などの工事費用として、合わせて1億2千万円程度の予算を見込んでおります。

狭山台中と中央中についても、施設整備に必要な費用を予算化する予定ですが、具体的な金額は決まっています。

(委員) 学校名を変えるといろいろと経費がかかると思うのですが、そういった経費が含まれることを考えての予算化なのですか。

(事務局) 予算は限られていますので、教育環境の改善のために使いたいとは考えています。

(委員) 学校が一枚なくなる分、経費は減少しますよね。

(事務局) はい。

(委員) 制服にかかる費用は、予算化はされず個人負担になるのですか。

(事務局) 制服に関しては、保護者が購入して子どもに与えるべきものと考えていますので、予算化する予定はありません。

(委員) 富士見小の保護者説明会で出された質疑に対する事務局側の回答として、制服を市から支給することは考えていませんとありますが、これは決定事項と捉えていいのですか。

(事務局) 制服については、入曽地区でも市から支給することはありませんので、入間川地区でも同じ対応とさせていただきます。

(議長) 事務局から他に何かありますか。

(事務局) 統廃合までのスケジュールの件ですが、まだ調整が必要な部分がございます。申し訳ありませんが本日は提示することができませんでした。

統廃合計画の素案のなかで検討事項とされている部分については、方向性が決まった項目ごとに順次内容を埋めていく予定です。

(委員) 生徒数・学級数の推計の平成 26 年に記載されている数値は、どこから引っ張ってきているのですか。

(事務局) これは、特別許可地区など地域指定校外就学の許可申請を行わず、全員が指定校に進学した場合を想定した数値ですので、実際の数値とは異なってくると思います。

(委員) 平成 26 年の入間川中学校は 9 学級と記載されていますが、実際には新 1 年生は 70 数人で 2 クラスなので、全体では 8 学級になる見通しです。

(事務局) ここに記載している数値は、あくまでも各学校区で住民登録されている子どもの人数によるものですので、私立に進学する子どもの数な

ども含まれています。

(委員) 制服に関しては、入曾のように、PTAの役員と校長等で委員会をつかって検討していくことでいいと思います。ただ、従前のものを使うのであれば大丈夫だと思うのですが、万が一、新しいものとなった場合には、デザイン決めや発注などで相当の時間が必要になりますので、統廃合までのタイムスケジュールは、そのあたりも考慮に入れたうえで作っていただければと思います。

(委員) 通学路の案を事務局から次回提示するとのことですが、これは次回の会議に臨む前に事前に送付していただけるのですか。

(事務局) 開催案内の通知と併せて送付できればと考えています。開催案内については、3週間くらい前までには出すようにしたいと考えています。

(委員) できれば3週間よりもっと前に出していただかないと、その内容についてPTAで事前に検討したいと思っても、検討する時間がないわけです。こちらで事前に検討をして、この場に臨んだ方がいいのであれば、もう少し時間をいただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

(委員) 狭山台中では、今後の受け入れやスペースのことなどを構想段階で考えているのですが、今後は、特別支援学級の設置の有無についてもご意見いただければと思っています。送り迎えの駐車場や教室の確保などいろいろありますので、こちらについてもご協議いただければと思っています。

(事務局) 東中にある特別支援学級をどうするかは大きな課題ですので、この統廃合計画にも盛り込む予定ですが、保護者の意向も踏まえつつ、特別支援学級の設置については、事務局から案を提示したうえでご協議いただければと考えています。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 検討協議会第11回会議録
- ◆ 富士見小学校保護者説明会報告（平成25年11月9日・11月13日）
- ◆ 新狭山小学校保護者説明会報告（平成25年11月21日）
- ◆ 狭山台小学校保護者説明会報告（平成25年11月26日）
- ◆ 入間川地区の中学校の統廃合計画の構成（素案）